

科目名	太宰府地域学 一地域の一員として学ぶ	科目ナンバー	HN-CA1201			
担当者 (実務経験名)	教授 佐長 健司					
履修期	1年 前期			卒業単位		
免許・資格						
授業概要	太宰府地域についての理解を深め、この地に身をおいて学ぶ意味について考察することを目的とする。そのために、フィールドワーク					
到達目標	知識・理解	太宰府地域の地理的環境、及び歴史的形成について理解する。				
	思考・判断	太宰府地域に身をおいて学ぶことの意味について考え、自身のあり方について判断する。				
	興味・意欲・態度	太宰府地域に対する興味と関心を深め、学びへの意欲を強くする。				
	技能・表現	技能を高めるように、調べたり考えたりしたことについて効果的に表現する。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション		シラバスを読み、見直しをもつ。		4
	2	太宰府地域の地理的環境		太宰府地域の地理について調べる。		4
	3	太宰府地域の歴史的形成		太宰府地域の歴史について調べる。		4
	4	フィールドワーク: 太宰府政庁		太宰府政庁について調べる。		4
	5	フィールドワーク: 太宰府展示館		古代の人びとの生活について調べる。		4
	6	フィールドワーク: 水城館		白村江の戦いについて調べる。		4
	7	フィールドワーク: 水城跡・古代官道		古代の対外関係について調べる。		4
	8	フィールドワーク: 観世音寺		斉明天皇、天智天皇について調べる。		4
	9	フィールドワーク: 戒壇院		古代の仏教について調べる。		4
	10	フィールドワーク: 太宰府天満宮		菅原道真について調べる。		4
	11	フィールドワーク: 太宰府館等		地域の活性化について調べる。		4
	12	フィールドワーク: 竈門神社		竈門神社について調べる。		4
	13	フィールドワーク: 宝満山		修験道について調べる。		4
	14	フィールドワークの報告と討論		報告と討論の準備をする。		4
	15	総括とレポート作成の準備		講義を振り返り、レポート構成メモを作成。		4
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○		○	40%
	課題 実技					
	受講状況・態度		○	○		20%
	その他(ノート)	○		○	○	40%
フィードバックの方法	講義の冒頭では、前回の内容を振り返るようにする。また、レポートの作成においては、各自の到達度を高めるために個別に助言を行う。					
教科書	中学校、高等学校の「社会科」、「日本史」、「地理」(地図帳も含む)、「現代社会」等の教科書、あるいは地理や歴史に関する文献。					
参考書	太宰府地域に関する文献など、講義において紹介する。					
アクティブ・ラーニング	調べたいことを明確にしてフィールドワークを行うなかで、資料を収集し、フィールドノートを作成してほしい。					
ICT活用	予習においては、インターネット等を活用し、広く情報を収集してほしい。ただし、情報の信頼性や正確性は十分に吟味しなければならない。					
メッセージ・備考	太宰府地域の一員としてのアイデンティティを形成するように、積極的に調べ、深く考えてほしい。					
関連科目	「日本の文学と文化」、「日本語と文化」など。					